

地球探検〜カンボジア編〜 (似ている点、異なる点)

ねらい

外国という未知の国への好奇心は誰にでもあるもの。この好奇心は、発見、感動そしてその国への尊敬へと発展し、世界中の文化に優劣はなく対等に存在しているという認識につながる。また、その国の文化を理解することは、同時に自国の文化を見直すことにもつながり、自分自身を振り返ることで、自分の生き方を考えるきっかけとなる。(一方、その国についてあまり知らないことは、誤解や偏見、差別へつながる可能性がある。)

ここでは、子どもたちがカンボジアという国のある関心にそって主体的に学習する過程の中で、新しい視点や学び方を自ら獲得し、自分自身の生き方を考えることができるようになってほしい。

(ここでは、従来行われている国調べ学習とは、ひと味違った進め方を紹介する。今回は、一例としてカンボジアを素材にしているが、クラス全体で行う場合は、グループ毎に違った国を素材にして行うこともできる。)

学習者の目標

知識

- カンボジアの豊かさ、平和な現在、戦争つづきの過去、カンボジアの復興と平和を願う人々の努力を知る。
- カンボジアの人々と日本人の持っている共通点や相違点を説明できるようになる。

技能

- 自分の感じ方や関心を掘り起こし、そこから考え、調査し、結果をまとめて表現することができる。
- 本、新聞、インターネットなど様々な手段で調べることができる。
- 学校の外の社会の人々と接するときのマナーを身につける。

態度

- 先進国だけでなく途上国を含めた世界への関心を持つ。
- 自分を含めた人が共通にもっているもの、あるいは違いに共感し、敬意を持てるようになる。

対 象 小学校高学年以上

学習計画

総時間
16
時間

	内 容	時間	主 な 手 法
1	出発点を確認しよう。	1	ブレインストーミング
2	おもしろい疑問ってなあに？	1	ブレインストーミング
3	テーマを探ろう	3	インターネット、新聞、図書
4	学習スタート	8	インターネット、新聞、図書、外部講師
5	発表会	2	
6	ふりかえり	1	

学習案

1 出発点を確認しよう (1時間)

(主な手法：ブレインストーミング)

今時点で、カンボジアについて知っていることをブレインストーミングという方法を使って紙に書く。(→「ブレインストーミング」P63)

「マリーちゃんの手紙」(<http://www.worldvillage.org/net/wwt/cambodia/>)を読んで、カンボジアってどんなところだと思うかを紙に書く。

2 おもしろい疑問ってなあに? (1時間)

(主な手法：ブレインストーミング)

前の時間に書いたことを読んで、ブレインストーミングという方法を使ってできるだけたくさん疑問を列挙して、発表する。(突飛な疑問、いじわるな疑問、失礼な疑問などどんな疑問でも等しく奨励する。)(→「ブレインストーミング」P63)

様々な疑問の中から、おもしろい(興味深い)疑問について話しあい、今後の学習過程で出していきたい疑問とはどんなものかを言葉に表わす。それを疑問についての自己評価の観点(*1参照)にする。

3 テーマを探ろう (3時間)

(主な手法：インターネット、新聞、図書)

様々な資料から、自分の心に響く学習テーマを選ぶ。(→「インターネット」P61)

<一般>

「地球探検」……<http://www.worldvillage.org/net/wwt/cambodia/>

「カンボジアカルチャー」……<http://www.bekkoame.ne.jp/~ema/>

(※スーさんのプロフィールは必読。日本人に腹が立つこと、カンボジア料理、などの情報もおすすめ)

「色のない空」……<http://www.mekong.ne.jp/books/nonfiction/010701.htm>

「アンコール・ワットの青い空の下で」……<http://www.mekong.ne.jp/books/localwriter/011101.htm>

甲斐峰雄さんの講演……<http://www.yoke.city.yokohama.jp/data/nanmin/kai.html>

カンボジア政府観光局……<http://www.fsun.co.jp/angkor-wat/>

カンボジアウォッチ……<http://www.locomo.org/cambodia/>

今日のプノンペンの天気……<http://www.cnn.com/WEATHER/as/Cambodia/PhnomPenhCAPP.html>

「スーはきっと踊りつづける カンボジア舞踊家イム・キムスールの半生」(遊佐たいら(著) 工作舎)

「アンコール・ワットとカンボジア」〈2002 2003年版〉(地球の歩き方ダイヤモンド・ビッグ社)

「もっと知りたいカンボジア」(綾部恒雄、石井米雄(編集) 弘文堂)

「カンボジア目で見える世界の国々〈54〉」(ロリコールマン(著) 国土社)

<NGO活動>

JVC(日本国際ボランティアセンター)カンボジアチーム……http://www.jca.ax.apc.org/jvc/join/cambodia/cambodia_jp.htm

カンボジア地雷撤去キャンペーン……<http://homepage1.nifty.com/cmcc/index.html>

SCCカンボジアに小学校を建てる会……<http://homepage2.nifty.com/scc/>

カンボジアに暮らして……<http://homepage1.nifty.com/enfanthp/top.htm>

(※先生としてカンボジアに暮らした人の記録。)

クメール伝統織物研究所……<http://www.esprit-libre.org/iktt/index.html>

(※伝統織物の復興を試みているボランティアのサイト。援助の意味を考えさせる記述も多い。)

<戦争>

一ノ瀬泰造「地雷を踏んだらサヨウナラ」……<http://www.to-films.co.jp/index01.html>

<言語>

カンボジア語オンライン……<http://www.camstudy.com/>(※無料日常会話に音声がついている。文字の書き順もわかる。)

世界の文字であそぼう……<http://www.biwa.ne.jp/~s-ueno/>

クメール語教室……<http://www03.u-page.so-net.ne.jp/tb3/korochan/khmer/khmerindex.htm>

<文化遺産>

アンコール・ワット……<http://www.bigpond.com.kh/users/eojc/photo2.htm>

(「アンコール ワット」又は「アンコールワット」で検索すれば他にもたくさんのサイトがある。)



参考資料

4 学習スタート (8時間)

(主な手法：インターネット、新聞、図書、外部講師)

1. グループ毎に探究テーマに沿って調べる。

学習支援の ヒント

<教師からの問いかけ例>

カンボジアにはカンボジア人がいるのかな。カンボジア人しかいないのかな。他の国はどうだろうか。／日本にもカンボジアから来た人が住んでいるのかな。人はどんな理由で外国に移り住むのかな。／カンボジア難民は日本をどう見ているのかな。／水はタダかな。世界で水が飲めない地域ってどのくらいあるのかな。／お金は世界でどう使われているの。／世界の中で「カッコいい人」ってどんな人だろう。どんな「カッコいい人」を見つけたかな。／どうして命を危うくしてまでもカンボジアに飛び込んで行く人がいるんだろう。／みなさんは自分の力で世界を変えられると思うか。／どうして人は戦争や大量虐殺なんてすることができるのだろう。／日本とカンボジア、どっちに生まれたら幸せだと思うか。／カンボジア人の誇りってなにか。／カンボジアが日本やアメリカと同じような国になったらどう思うか。

<教師からの仮説の投げかけ例>

人に物やお金をあげるとその人が怠け者になるから物やお金はあげない方がいい。／社会の中で必要なことを学ぶためには社会に出て働くことが一番で、学校で学ぶ必要はない。

<外部講師へのインタビューなど(十分に本などで調べた後に)> (1) 「外部講師」P57)

カンボジアで活動している青年海外協力隊員、NGOなどに質問してみる(メールや手紙、電話など)。／隊員経験者を呼んで話しを聞いてみる。／二本松青年海外協力隊訓練所を訪問して話しを聞く。同訓練所の公開講座に参加する。／他の国に行っている隊員について調べてみる。／日本で暮らしているカンボジア人に聞いてみる。／在日カンボジア大使館に資料請求する。

<教師からの学び方へのアドバイス>

本の探し方、インターネットでの情報検索法、外部の人への質問の仕方など。

2. 学び方のチェック

学習がはじまった早い段階で、どんな学び方があるか、できたらいいなと思う学び方はなにか考え、評価の観点(*1)を決める。

3. 発見のチェック

学習の途中で、これまでの学びを振り返って自己評価する。(教師は子どもたちとともに振り返り、学習を奨励する。)

- ・これまでどんな発見があったか、ファイル(*1)を振り返る。
- ・どんな発見がおもしろい発見か考える。
- ・自分の発見にポイントを付ける。
- ・いい疑問やいい学び方の観点を見直し、これまでに定めた評価の観点(*1)を修正する。
- ・これから学習してみたいことは何か考える。

4. 発表準備(4時間)

まとめの発表のための作業をする。

5 発表 (2時間)

学習成果を発表する。

発表例

- 旅行会社になってカンボジア・スタディー・ツアーの企画書を作る。
- 文化祭や学習発表会で発表する。
- 協力隊員に報告してお礼をする。
- 在日カンボジア大使館へカンボジア紹介のパンフレットを作成して送る。

6 ふりかえり (1時間)

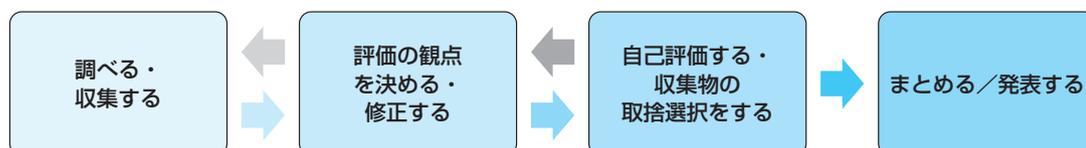
自分の学びを振り返る。

- ・ファイルをみて自分が学んだことを自慢してみる。
- ・この学習をしてよかったことはなにか話し合う。
- ・自分は変わったか、どうか変わったか、どう成長したか話し合う。

(*1) 評価について

[ファイルを使った自己評価]

評価はいわゆるポートフォリオ評価を使う。クリアファイルや二穴ファイル子どもたちの人数分準備し、評価シートを使いながら、学習と評価を積み上げて行く。その際に、評価の観点を教師が子どもたちとともに考えてつくり（または修正し）、その観点にしたがって自己評価を積み上げ、学習物を取捨選択し、振り返りながら学習する。この評価は自己評価であり教師による子どもたちの評価とは異なる。子どもたちには、この評価が自己評価であり、どんどん自分や仲間のよいところを見つけるよう奨励する。



[評価の観点]

学習を始めて適当な段階で、子どもたちと一緒にどんな学習ができたらいいか、どんなふうに成長していけたらいいか、を考えて評価の観点を定める（たとえば下の表のように）。評価の観点は学習の過程で付け加えたり、修正したりする。このプランでは、最初の評価観点の作成作業では「いい疑問」、「いい学び方」について主に考えて、ある程度学習して「発見」がたまってきた段階で「いい発見」を考えることにした。これらの評価の観点の主なものは表にして教室に貼るか、一枚のシートにして生徒のファイルの最初の方のページに綴じておくといいい。

観点例

評価の観点にしたがって自分の学習を振り返り、自分で自分の学習にポイントをつける。自己肯定の練習であり、新たに学んだことなど、いい点があればどんどんポイントをつける。さらに、評価の観点にしたがって重要な学習物とそうでないものを整理する。

疑問	多くの疑問を出す／やる気がわく疑問を出す／とにかく「自分の」心に響く疑問を出す／広がりがある疑問を出す（学習を発展させる疑問など）／カンボジアから日本や世界を考えるような疑問を出す／自分の生き方に関わる疑問を出す など
発見	カンボジアの豊かさを発見する／カンボジアを通して日本について発見する／日本とカンボジアのつながり、同じこと、違うことを発見する／日本とカンボジアと世界の共通のこと、カンボジアから世界につながることを発見する（たとえば多くの地域で水が不足していること、国と国の文化が影響しあっていること、一つの国には民族がひとつでないことなどを発見する）／どこでもおなじ「人間」を発見する／かっこいい生き方をしている人を発見する／自分の生き方に関わる発見をする など
学び方	情報のよい見つけ方を見つける／よい本の見つけ方を見つける／本をたくさん読む／よいウェブサイトを見つける／たずねる人を見つける／自分で夢中になって学ぶことができる素材を見つける／人に手紙を書いてうまく回答をもらう／世話になった人にはお礼を言う／みんなで協力して調べる／効率のよい学習の進め方を提案する／やる気がわく学習の進め方を提案する／みんなのよい点を見つけてよいと言う
まとめ方と表現	収集物から必要な部分を抜き出して整理する／わかりやすい資料をつくる／きれいな字で書く／いらぬものは捨てる／わかりやすく説明する／自分の本当の気持ちが入った発表をする／聞いている人がひきつけられる発表をする
行動・態度	わたしたちがやらなければならないことを見つける／実際にそれをやる／自分の中で何が変わったかを自覚する

主な参考文献

- 新しい開発教育のすすめ方〈2〉 難民 未来を感じる総合学習（開発教育研究会著）
 世界難民白書（UNHCR国連難民高等弁務官事務所編）
 みなおなじ地球の子 祖国は難民キャンプ（小林正典他ジュディスクミン（著）JudithKumin（原著）溜池玲子（翻訳））
 息子への手紙（中田武仁著）
 カンボジア政府観光局……<http://www.fsun.co.jp/angkor-wat/>
 カンボジアウォッチ……<http://www.locomo.org/cambodia/>